

歴史

たいん古いぶどう農家であるエブラン家とフークス家が1956年に結ばれました。マリー・マドレーヌ・フークスとアンリ・ジョゼ・エブランが結婚。エブラン家の系統樹の始まりは紋章を登録した1294年に遡り、フークス家は、ゼレンベルグにぶどう農家として居住した1615年です。

息子のジョゼ・アンリとクリスチャンはぶどう栽培の伝統を継承することを選び、現在のワイン醸造会社の経営者です。

このぶどうの収穫時の写真は、第二次大戦のあとに撮影されました。背負いかごのぶどうを空けている祖父アルチュール・フークス、右から2番目は祖母バルバラ、Drahthaar 犬リゴを抱いている女の子は私達の母マドレーヌ。背景にはオー・コエニスブル城 *château du Haut- Koenigsbourg*。写真を撮影したのはルネ・デイベール（のちの、シルティゲームのブラッスリ-・デュ・ペシャールの経営者）、父の戦友であり一緒に捕虜生活を送った仲間です。右端が夫人エリーズ。

